

きらり

清瀬で生きる女性に
インタビュー

唇に歌を・・・ 日常に生きた音楽を

ソプラノ歌手 みやざきすみこさん

透き通ったせせらぎのような声のみやざきさんに
音楽に対しての想いをうかがいました



音楽の道に進まれるきっかけ

父は童謡・唱歌、母はクラシックのピアノ曲が好きで、夕食のときも、車で外出のときも日常的に音楽が流れていました。いつも家族で音楽に親しんでいたことがきっかけでしょうか。

大学生の頃からブライダルで歌うアルバイトをしていたことや、地元で歌や演奏の指導をするなど、自然の成り行きで音楽の仕事につながりました。

現在の仕事の状況

シャンソン、ミュージカル、童謡唱歌、ブライダル…など歌の仕事。個人や高齢者の方々への音楽指導、訪問介護などです。子どもの頃祖父母と同居だったこともあり、介護の仕事も選びました。最低限を身につけなくてはいけない気がしていました。介護の仕事と音楽の仕事はつながっていない

ことも多く、ブライダルに出席された高齢の方への配慮にも役立っています。

フリーの仕事は身体が基本

体調管理に気をつけていることは大切な喉を守るため、マスクは携帯し、バランスのとれた食事をしっかりと、十分な睡眠を心がけています。

また、成分献血を2週間に一度することで、健康への意識が高められています。穴を開けられない仕事なので、常に身も心も元気であることを心がけています。

後輩へのエール

お金にならないことでも損得にとらわれず、打ち込めることを楽しく続けていくことで何かにつながります。形から入ろうとせず、自分からアプローチすることで道が開けます。

〈ひとこと〉

演奏、介護の仕事で高齢者の方々から学ぶことが多く、常に感謝の気持ちを忘れないように心がけている。散歩中、家事のとき、歌を口ずさむ。「唇に歌を」。歌うことで気持ちがリラックスし、プラスにできる。歌には道具も場所もいらない。「常に生きた音楽を」。「口角を少し上げるだけで笑顔になれますよ」。笑顔の素敵のみやざきさん。私も眉間にシワをよせずに口角を上げてみようと思いました。

(近藤)